

福祉のまちづくりを目指して ～市社協の取り組み～



集いの場づくり



おやこの交流



ボランティア体験授業



福祉まつり

市社協は、**会費、寄付金、赤い羽根共同募金**など、皆さまからの
ご支援でなっています。
これからも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

会費・寄付金について、詳しくは**6ページ**をご覧ください

令和5年度 尾道市社会福祉協議会の事業計画と予算の概要

我が国は、少子・高齢化による人口減少、労働力人口の減少という大きな課題に直面しています。加えて令和2（2020）年初頭に始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは既に3年を経過し、昨年の2月に開始されたロシアによるウクライナ侵攻についても解決の糸口は見えていません。コロナ禍における感染防止の取組による経済・社会活動の制限が長期化され、国際情勢の変化は物価高やエネルギー・為替変動などにより市民生活にも大きな影響を及ぼしています。休業や失業などによる収入の減少、人と人との接触が制限されることによる孤独・孤立問題、生活に困窮する人々の増加など福祉課題が顕在化しています。

「ダブル介護」「ひきこもり」「ヤングケアラー」など地域住民が抱える生活課題はますます多様化、複雑化していますが、一方では表面化し難い側面があるため既存の福祉制度だけでは対応が困難です。地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセルフティーマネジメント機能の強化が重要になっていきます。

国においては、地域包括ケアシステムの構築や生活困窮者自立支援制度等により、あらゆる人が活躍できる地域共生社会の実現に取り組むとしています。社会福祉協議会のあり方は、様々な課題を抱えた住民が制約の狭間で支援が届かない状況にならないようにすることであり、その役割は一層大きくなっています。

また、全社協福祉ビジョンに掲げられている「ともに生きる豊かな地域社会の実現」を目指し、地域共生社会実現・災害福祉支援活動の充実・福祉人材の確保育成に向けて、引き続き行政、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、社会福祉施設、NPO・ボランティアなどの多様な組織・関係者と重層的な連携を行い、地域福祉活動に対する住民の理解を深め、住民参加と協力体制の充実に努めます。

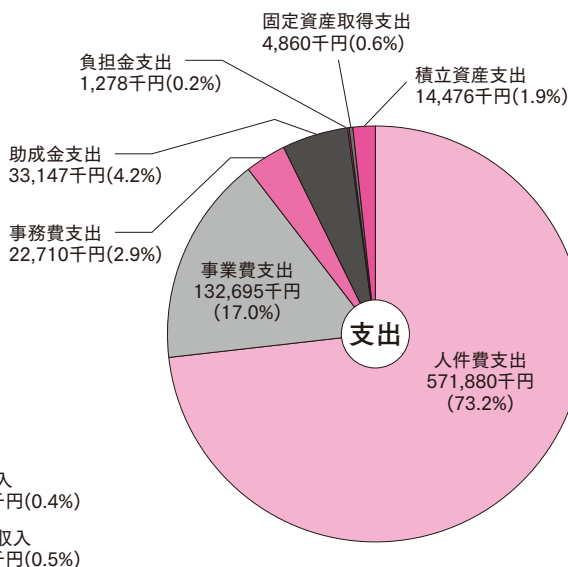
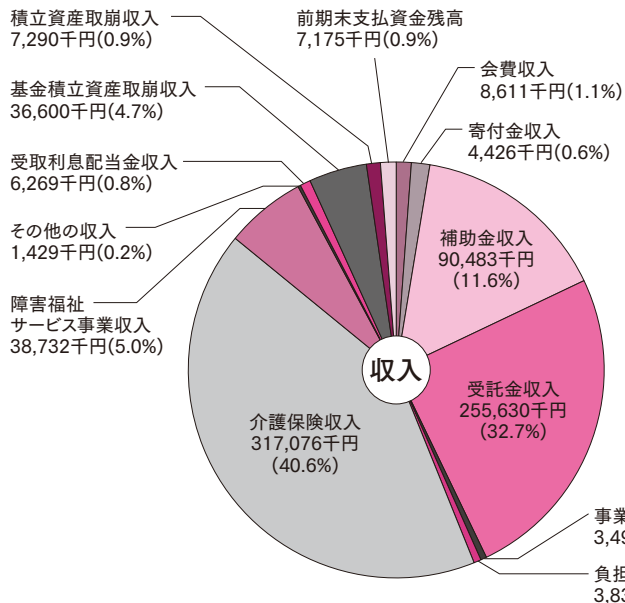
本会としては、平成28年度から取り組んでいる生活支援体制整備事業は継続して事業展開を行います。また、地域共生包括化推進会議の運営を通して、生活・困窮等複雑、複合化した相談等に関係機関と連携しながら支援に取り組みます。日本財団からの助成事業として開始した子どもサポート事業は、尾道拠点と因島拠点の2カ所において引き続き適切な運営に努めます。

この他、認知症カフェ推進や小地域ネットワーク推進、ボランティア養成、ふれあいサロンなどの各種事業については、今後の感染症の流行状況に応じ、より積極的な事業展開を行い地域関係者との連携を図り、身近な地域での見守りや話し相手等の生活支援ができるように取り組めます。

介護サービス事業においては、コロナ禍や介護人材不足等で厳しい経営状況が続いています。介護事業所会議等で課題を共有して業務改善を図るとともに、令和4年度に作成した業務継続計画（BCP）をもとに感染症や災害への対応力を強化し、利用者に必要な介護サービスが安定的、継続的に提供できるように努めます。

令和5年度 予算額 781,046千円

令和5年度 一般会計



ふれあいサロン研修会を開催しました

4会場(旧尾道、御調、因島、瀬戸田)をリモートでつなぎ、ふれあいサロン研修会を開催しました。サロン活動の説明後、木頃地区「中野仲良しクラブ」の石井哲代さんにご講演いただきました。

102歳とは思えぬ大きな声量で、ユーモアたっぷりにお話くださいました。石井さんの元気の秘訣は、「サロン活動があることで、地域のみなさんとつながれることです。」と教えていただきました。



ボランティアがつながり、一緒に考える ~尾道市ボランティアネットワーク~

尾道市内には、旧尾道、御調、向島、因島、瀬戸田の5つの地域にボランティア連絡協議会があり、それらがつながる仕組みとして、尾道市ボランティアネットワークがあります。

市内で活動するボランティアの取り組みを尾道市の職員にも知ってもらおうと、2月24日(金)、尾道市役所を会場に定例会を開催しました。市長にも出席いただき、各地域のボランティア活動を知っていただく良い機会となりました。

今後も、ボランティア同士のつながりを大切にしながら連携し、市内のボランティア活動が活性化していけるよう、取り組んでいきます。



サポートセンター通信 vol.16

おのみち女子会「クローバー」 参加費無料

なんだかうまくいかない
人間関係がちょっと苦手
一歩を踏み出す元気が出ない

開催日時：毎月第2金曜日 14:00~15:30
開催場所：総合福祉センター
※会場の都合等で、変更する場合があります。

くらしサポートセンター尾道では、日々の生活の中で生きづらさを感じ、誰にも相談できず、孤立し、ひきこもり状態にある女性を対象とした「つどいの場」を開催しています。

毎回参加しなくても大丈夫です。もちろん途中参加、途中退席OKです。

どんなつどいなのかな?と興味をもたれたら、一度、くらしサポートセンター尾道までご連絡ください。ご参加お待ちしております。



いつもの様子



外出することも

問い合わせ くらしサポートセンター尾道
☎0848(21)0322 FAX0848(22)9111 Eメール:kurashi@onomichi-shakyo.jp

コロナ特例貸付

フォローアップセンターを開設しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りの方への貸付制度(コロナ特例貸付)をご利用された方々を対象とした、生活の困りごと相談窓口として開設しました。

生活や貸付償還に関する事などお気軽にご相談ください。

☎0848(24)1105、1106

福祉総合相談

場所：総合福祉センター 【予約受付：☎0848(21)0322 平日9~17時まで】

暮らしの中の心配ごとや悩みごとを、専門相談員がお伺いいたします。お気軽にご相談ください。

相談担当	相談日時	相談内容
法律(弁護士)	4/19, 5/17, 6/21 毎月1日から予約受付	13:00~16:10(約30分)
法律(司法書士)	4/13, 5/11, 6/8	13:00~16:10(約30分)
こころの悩みごと (傾聴ボランティア コスモス)	毎週月曜日	10:00~16:00
		財産・相続・金銭貸借・離婚等の法律に関すること 登記・相続等の手続きに関すること 悩みごと、心配ごとなど、じっくりとお伺いします。 電話でも相談できます。☎090-1684-2783

【くらしサポートセンター尾道】様々な理由で生活にお困りの方のご相談を受け付けています。お気軽にお問い合わせください。
受付日時<総合福祉センター>月~金(祝日、12月29日から翌年1月3日までを除く)9時~16時
ご相談、問い合わせ ☎0848(21)0322 FAX0848(22)9111 Eメール:kurashi@onomichi-shakyo.jp

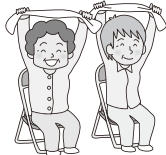
【老人福祉センター】

尾道市在住の60歳以上の方が利用できます。

生きがいづくり、仲間づくりなど外出のきっかけになる教室を行っています。日々の生活の中で“いきいきとした毎日”“きらきら輝く気持ち”を応援しています。いつでも教室見学が出来ますので、お気軽にお越しください。

☆各種教室

- 男のストレッチ ●ぽかぽか体操 ●呼吸法と体操
- じんわりストレッチ ●体操とセルフケア ●ここからケア
- スマイルの時間(うたごえ体操から教室名が変更)
- うたを楽しもう(音楽療法) ●脳もいきいき(脳トレ)
- むつみ会(つどいの時間)
- 囲碁・将棋クラブ ●機能回復訓練



【同好会】・絵手紙同好会

《利用登録について》

教室へ参加される場合は、年間利用登録が必要です。

ちまちまスタイル

【和のランプシェードを作ろう】

- 日時 (貼り付ける日)
4月27日(木) 1部 13:30～ 2部 14:30～
(仕上げる日)
5月9日(火) 10:00～12:00
- 場所 総合福祉センター2階 会議室(両日とも)
- 参加費 800円(材料代)
- 定員 各10名(定員になり次第締め切ります)
- 持ち物 汚れてもいい服・雑巾・新聞1日分
- 申込方法 電話、社協窓口にて受付
※申込受付は、ご本人に限ります。

【障害者福祉センター】

尾道市在住の障害者手帳(身体・療育・精神)をお持ちの方が利用できます。

外出や社会参加のきっかけづくりとなる教室を行っています。教室の見学ができますので、まずはお問い合わせください。

☆各種教室

- パソコン入門 ●楽しむハーモニカ
- スポーツを楽しもう ●うたの花束
- つどい ●あったかタイム
- チャレンジタイム ●はーとらんど
- ふでふで工房(知的障害者のための習字クラブ)
- 機能回復訓練



【同好会】

- 栗クラブパソコン ●友遊パソコン ●習字同好会

《利用登録について》

教室へ参加される場合は、年間利用登録が必要です。

つどい「フレームリース」

- 可愛い卓上のリースをつくります。
- 日時 4月26日(水) 10:00～11:30
- 場所 総合福祉センター2階 小会議室
- 講師 柴原 克恵さん
- 参加費 500円(材料代)
- 定員 10名(定員になり次第締め切ります)
- 申込方法 電話、社協窓口にて受付

【パソコン入門】参加者募集!

初心者でも安心。スイッチを入れるところからゆっくり始めます。いつからでも習うことが出来ます。興味のある方は、お気軽にご相談ください。

- 日時 毎週金曜日 10:00～12:00
- 場所 総合福祉センター
- 参加費 1人 100円/月
- 申込方法 電話、社協窓口にて受付
※貸し出し用のパソコンがあります。



【母子・父子福祉センター】

尾道市在住のひとり親家庭、乳幼児の親子が利用できます。

就労支援講座や子育て支援講座などを開催しています。また、ひとり親家庭の交流の場として親子交流会を行っています。

ひとり親家庭の交流会

～ちぎり絵で夏を描こう♪～

- 日時 6月18日(日) 10:00～11:30
- 場所 総合福祉センター
- 参加費 一人 100円(材料代)
- 定員 10組(定員になり次第締め切ります)
※小学生以上なら子どもだけでも参加できます。
大人だけの参加もできます。
- 申込方法 電話、社協窓口にて受付
- 申込期限 6月9日(金)

就労支援講座 受講生募集

《医療事務講座》

- 日時 5月12日～10月6日 9:30～12:00
毎週金曜日 全21回
- 場所 総合福祉センター
- 内容 病院などの医療機関で働くために必要な知識や技能(受付・会計業務、レセプト作成など)を身につけ、資格取得を目指します。
- 対象 どなたでも受講できます
(尾道市民・ひとり親家庭優先)
- 講師 (株)ニチイ学館
- 参加費 50,000円(テキスト代込) ※ひとり親家庭の方には助成あり
- 定員 10名(ひとり親家庭優先)
- 申込方法 電話、社協窓口にて受付
- 申込期限 4月20日(木)

【児童センター】

児童センターは、尾道市在住の0歳から18歳までの子どもたちを対象とした施設です。(就学前の子どもは、保護者同伴)

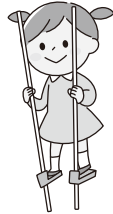
子どものための健全な施設で“あそび”を通して子どもの想像力・自主性・社会性を育むために色々な活動や行事を行っています。

■児童センターのあそび

- 卓球 ●一輪車 ●竹馬 ●けん玉 ●お手玉
- ボードゲーム ●滑り台 ●KAPLAブロック
- おはじきカロム ●知育玩具

▼開館時間 10:00～11:45／13:00～14:45
15:00～16:45
(12:00～13:00の間は閉館)

▼休館日 月曜日・祝日・年末年始



《利用登録について》

就学前のお子さまは、必ず保護者の方をご利用ください。また、小学生になると一人で来館し、子ども自身が選び・自由に遊ぶことの出来る場所です。

いずれも利用するには、「名前」「学校名」「保護者の名前」「自宅の住所」「保護者の連絡先」「緊急連絡先」などを記入する【登録】が年度ごとに必要です。(4月から新年度です。)

☆子どもいけばな教室 参加者募集!

伝統文化「華道」の世界を体験し、おうちの中に季節ごとのいろいろなお花を飾って、日本の四季を楽しみましょう。

日時 初回5月20日(土)月1回 土曜日
9:30～10:30

場所 総合福祉センター2階 会議室

対象者 尾道市内の小学生、中学生

講師 池坊山陽支部 進来 せい子さん

参加費 10回分 7,000円(花材代、諸経費込み)

定員 50名

申込方法 電話、センター来館にて受付



☆子ども茶道教室 参加者募集!

前期・後期に分けてお抹茶の入れ方やお饅頭のいただき方を楽しく習います。「茶道」の伝統文化に親しみ、おもてなしの体験をしてみませんか。

日時 【前期】5月14日・6月11日・7月9日(全3回)
月1回 日曜日 ①10:20～10:50 ②11:00～11:30

場所 総合福祉センター2階 児童センター内

対象者 ①未就学児 ②小学生

講師 大森 尚美さん

参加費 3回分 450円(お饅頭代)

定員 各7名(定員になり次第締め切ります)

申込方法 電話、センター来館にて受付



令和5年度 第1回フードドライブを実施します

ご家庭で「食べきれないな」「使い切れないな」といった食品があれば、ご寄付をお願いします。

受付日時: 6月19日(月)～6月23日(金) 9:00～16:00

受付場所: 総合福祉センター1階 サポートセンター(尾道市門田町22-5)

問い合わせ: ☎0848(22)2114

取り扱う食品: お米・乾麺・インスタント食品・レトルト食品・食用油・調味料・缶詰・菓子類等



- 《注意事項》 ○賞味期限が記載されていて、期限が2か月以上あるもの ○常温で保存できるもの
○未開封で、包装が破れていないもの ○食品の説明が日本語表記されているもの

65歳以上の 高齢者の方の

なんでも相談会

介護保険の事、生活の困り事、物忘れの事など、気になることはありませんか。当日は「物忘れ相談プログラム」タッチパネルで簡単なチェック診断も行います。

日時: 4月26日(水)10:00～12:00
5月24日(水)10:00～12:00

場所: イオンスタイル尾道 東入口

《問い合わせ先》

尾道市地域包括支援センター ☎0848(56)1212

尾道市西部地域包括支援センター ☎0848(21)1262

※会場にお越しの際はマスク着用をお願いします。また、発熱や咳などの風邪症状、体調がすぐれない場合は来場をご遠慮ください。

在宅介護者の集い

不安や悩み、心配ごとはありませんか。ちょっとした疑問でも大丈夫、同じ立場の者同士です。男性介護者の参加も増えています。参加希望の方は申し込みをお願いします。

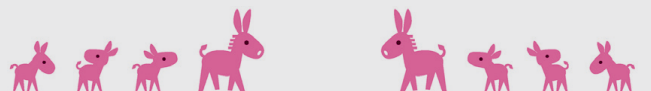
日時 4月25日(火) 13:30～15:00

場所 総合福祉センター2階 会議室

申込期限 4月21日(金)

協力 尾道市認知症の人と家族の会

申込先 社協 地域福祉課 ☎0848(22)8385



社協会費へのご協力のお願い

尾道市社協では、「いつまでも暮らしたいこのまちであなただけの笑顔が宝物」をテーマに、市民の皆さまや地域の諸団体の皆さまの参加と協力を得て、今日までさまざまな地域福祉事業を実施しています。

社協会員は、会費というかたちで福祉活動に間接的に協力しているという意味をもっています。納めていただいた会費は、地域課題を解決するために必要な福祉サービス等を実施するための、貴重な財源となっております。

決して強制ではありませんが、社協の活動にご理解いただき、一人でも多くの方に社協会員になっていただきたいことから、皆さまのご協力をお願いします。

世帯会費

1世帯 **150円**

賛助会費(個人・法人)

1口 **1,000円**

団体会費(福祉団体)

1口 **3,000円**

ご寄付のお願い

※寄付金は、税法上、寄付金控除の対象となり、優遇措置を受けることができます。

尾道市社協では、善意のご寄付を受け付けています。皆さまから寄せられる寄付金は、より豊かな地域づくりのために活用させていただきます。

ご香典返しに代えてのご寄付のほかに、物品寄付、同窓会のグループの方からや、日々の生活への感謝、チャリティバザーの収益等の一般寄付なども受け付けています。

「寄付金」は、社協の自主財源の要である「会費」や、「共同募金会からの配分金」と並んで重要な収入源です。ご寄付は年間を通じて受け付けておりますので、皆さまのあたたかいお気持ちをお寄せくださいますよう、よろしく願いいたします。

兼吉さんぽ



《向島町兼吉地区の取り組み》

～地域の集いの場～

2月28日(火)、早朝は肌寒く感じましたが、兼吉さんぽが始まる10時30分には快晴に恵まれ風もなく、絶好のさんぽ日和。今回はいつもの体操に代えて街中を一周するウォーキングです。

集合場所に集まり、人数確認と説明を受け、いざ出発。参加者は、ボランティアスタッフを加えて17名2列でおしゃべりをしたり、ゴミ拾いもしながら約800mのコースを30分ほどかけてゆっくり歩きました。

さんぽが終わると尾道渡船前の広場で休憩。お茶と栄養補給のおやつをいただき、最後に写真を撮って解散しました。楽しく体力づくりができました。

続いて、3月11日の東日本大震災(12年目)に合わせて、津波による避難訓練を兼ねて小高い丘の「しーそー」広場(旧秀山荘)まで第2回目のウォーキングをしました。

80歳代の参加者も、声かけをしながら一緒に坂道を登り、みんなで助け合いながら避難できる体験ができました。避難訓練を兼ねてのウォーキングは大成功でした。

(参加者27名)



ご寄付ありがとうございました (令和5年1月11日～令和5年3月10日)

寄付金の掲載につきましては、寄付者のご了承をいただき、掲載させていただいております。(敬称略、単位円)

<p>【本所受付分】 (1月分) 亀谷 道子 (山波町 亡夫 萬生夫) 金一封 木原 秀美 (美ノ郷町 亡父 助永勇次郎) 金一封 河本 博文 (山波町 亡父 匠志) 金一封 宇根 敬治 (木ノ庄町 亡妻 公子) 金一封 笠井 敏也 (浦崎町 亡父 良昭) 金一封</p> <p>(2月分) 平山 二郎 (高須町 亡母 貞子) 金一封 九十九隆幸 (美ノ郷町 亡義父 弘) 金一封 崎濱サトミ (山波町 亡夫 洋和) 金一封 上野 清治 (浦崎町 亡父 裕嗣) 金一封 栗原 順子 (美ノ郷町 亡母 突沖保代) 金一封 元廣 泰正 (栗原町 亡母 マサミ) 金一封</p> <p>(3月分) 田中 裕久 (美ノ郷町 亡義母 君子) 金一封 山本 敏枝 (美ノ郷町 亡夫 豊光) 金一封 浦上 良子 (福山市 亡夫 英二) 金一封</p> <p>【御調支所受付分】 (1月分) 和泉 令子 (御調町貝ヶ原 亡夫 彰三) 金一封</p> <p>(2月分) 隅原 聖子 (御調町大田 亡父 浅田訓治) 金一封 金岡 恵子 (御調町丸門 亡夫 彰) 金一封 伊駒 勉 (御調町徳永 亡父 多田 薫) 金一封 金永 訓二 (御調町植野 亡母 ナラエ) 金一封 平田 當子 (御調町神 亡夫 集) 金一封 池上 春夫 (御調町綾目 亡父 芳夫) 金一封 田中 和平 (御調町綾目 亡母 スミコ) 金一封</p> <p>(3月分) 部屋 朋成 (御調町津蟹 亡父 孝治) 金一封 西 雅博 (御調町今田 亡母 久江) 金一封</p>	<p>【向島支所受付分】 (1月分) 峰 千恵 (向島町岩子島 亡母 三阪多鶴子) 金一封 福地 光文 (広島市 亡父 久人) 金一封 新田 和彦 (向島町 亡母 タカコ) 金一封 高橋 秀雄 (向島町 亡母 利江) 金一封 楠 サチコ (向島町 亡夫 正元) 金一封</p> <p>(2月分) 吉本 勝美 (向島町 亡母 能子) 金一封 岡島 邦浩 (西宮市 亡母 禮子) 金一封 木梨 光治 (広島市 亡母 ミヅエ) 金一封 栗原 定文 (向島町 亡妻 敏江) 金一封 村上 明 (大阪市 亡母 満子) 金一封 高原 孝行 (向島町 亡母 久美子) 金一封 伊駒 勉 (御調町徳永 亡父 多田 薫) 金一封 本村 英明 (向島町 亡夫 京一) 金一封</p> <p>(3月分) 野島 正安 (向島町 亡妻 愛子) 金一封 三阪 哲也 (福山市 亡母 幸子) 金一封</p> <p>【因島支所受付分】 (1月分) 手島登喜子 (因島三庄町 亡夫 英規) 金一封</p> <p>(2月分) 高田 史彦 (因島重井町 亡祖母 フミエ) 金一封 星野 裕彦 (大阪府 亡父 喜一) 金一封 片平 義光 (因島中庄町 亡妻 都) 金一封 村上 隆文 (神戸市 亡父 幸典) 金一封</p> <p>【瀬戸田支所受付分】 (1月分) 根角登美男 (瀬戸田町萩 亡母 邦子) 金一封 匿名 (1件) 金一封</p>	<p>(2月分) 岡野 久 (瀬戸田町萩 亡母 サツエ) 金一封</p> <p>一般寄付 百島簡易郵便局 (百島町) 金一封 國貞 峯子 (手崎町) 金一封 瀬戸田町グラウンドゴルフ協会 (瀬戸田町) 金一封 匿名 (4件) 金一封</p> <hr/> <p>市社協指定寄付金(計) 850,000 地区社協指定寄付金(計) 720,000</p> <hr/> <p>物品寄付 国際ソロプチミスト三原 (三原市) プロジェクト及び関連機器一式</p> <hr/> <p>会費ご協力 ありがとうございます 市社協の運営に対しまして、ご理解とご協力を いただきました賛助会員・団体会員の方々です。 (令和5年1月11日～令和5年3月10日受付分) (敬称略、順不同)</p> <hr/> <p>賛助会費 広島県中小企業家同友会尾道支部青年部会 清政 一男 金本 和子</p> <p>団体会費 瀬戸田町身体障害者福祉協会 しまおもい健康生活ネットワーク 保育サポーターはっとレモン瀬戸田 こころのよりどころ・レモンピア</p>
---	--	---

赤い羽根共同募金 ～市内小学校から ご協力いただきました!～

令和4年度も3月31日まで募金活動に取り組み、尾道市内の各小学校から募金の協力をいただきました。学校行事や児童会を中心とした募金活動など、工夫を凝らし取り組んでいただきました。ありがとうございました。



栗原北小学校



日比崎小学校

国際ソロプチミスト三原より 『プロジェクト及び関連機器一式』 を寄贈していただきました

国際ソロプチミスト三原(脇本頼子会長)から、令和5年1月30日に、認証40周年記念事業として、尾道市社会福祉協議会瀬戸田支所に、プロジェクト及び関連機器一式(20万円)を寄贈していただきました。

今後、社会福祉活動に活用させていただきます。ありがとうございました。



ボランティア講習会受講生募集

～講習会修了後はボランティアとして活躍しよう～



手話奉仕員養成講座(入門・基礎)

～手話を学びボランティアをはじめませんか～

日 時 5月18日～2月22日 19:00～21:00
毎週木曜日(全36回)

場 所 総合福祉センター
◎テキスト代 3,300円が必要です

点字1日体験講座

点字ってどんなもの?と思われる方や、点訳ボランティアに興味のある方、ぜひ一度体験してみませんか。

日 時 5月9日(火) 10:00～12:00
場 所 総合福祉センター

手話講習会(入門)

■尾 道
日 時 5月19日～9月15日 10:00～12:00
毎週金曜日(全17回)

場 所 総合福祉センター

■御 調
日 時 5月20日～7月22日 13:30～15:30
毎週土曜日(全10回)

場 所 御調文化会館

■向 島
日 時 5月24日～9月20日 19:00～21:00
毎週水曜日(全17回)

場 所 向島愛あいセンター

■因 島
日 時 5月23日～7月25日 19:00～21:00
毎週火曜日(全10回)

場 所 因島総合福祉保健センター

◎テキスト代 3,300円が必要です

点字講習会

～目の不自由な方に点字で情報を届けます～

■尾 道
日 時 5月16日～7月18日 10:00～12:00
毎週火曜日(全10回)

場 所 総合福祉センター

■向 島
日 時 6月9日～11月24日 19:00～21:00
第2・4金曜日(全10回)

場 所 向島愛あいセンター

■因 島
日 時 5月10日～10月25日 18:30～20:00
第2・4水曜日(全10回)

場 所 因島市民会館

◎講習ではパソコンも使用します

◎テキスト代 1,540円が必要です

朗読録音講習会

～目の不自由な方に、
あなたの声で多くの情報を届けませんか～

■御 調
日 時 6月1日～8月3日 13:30～15:30
第1・3木曜日(全5回)

場 所 御調文化会館



■向 島
日 時 6月9日～11月24日 10:00～11:30
第2・第4金曜日(全10回)

場 所 向島愛あいセンター

◎テキスト代 300円が必要です

広島県要約筆記者養成講座

「要約筆記者」は社会福祉事業・要約筆記事業を
担うことのできる専門資格です

開講式 4月23日(日) 12:45～(全18回)

場 所 総合福祉センター

◎テキスト代 3,670円が必要です

※詳しい日程、申し込みは

NPO法人広島県難聴者・中途失聴者支援協会

☎082-259-3327 へお願いします。

ボランティア講習会の申し込みは、☎0848(22)8385 まで